

足立事業所に桜の木が登場

当足立事業所にはいままで春の到来を告げる代表的な木々の「桜」が1本もありませんでした。しかし今回東側緑地北隅に「河津桜」の木が1本だけですがついにお目見えいたしました。

桜の多くが3～5月に咲き、各地でさまざまな花を楽しませてくれます。この時期は日本人にとって街中で桜の花を見かけると春が来たことを実感します。桜の花のなかではソメイヨシノが有名ですが、この河津桜は開花が早くまた長い期間咲いていることでも有名です。お時間のあるときはちょっと立ち寄ってみてはいかがでしょうか。いまはまだ背丈も低く幹も細くて心細い状態ですが、これから毎年成長していく姿を末永く見守ってやってください。



知っておきたい桜の基礎知識

サクラの原産地はヒマラヤ近郊と考えられておりバラ科サクラ亜科サクラ属の落葉樹の総称です。現在、ヨーロッパ・西シベリア・日本・中国・米国・カナダなど北半球の温帯全体、特にアジアを中心に広く分布しています。中でも日本列島には桜の種類が集中しており固有種・交配種を含め600種以上の品種が確認されています。

この時期は「桜の花に似ているけど何の花だろう…」と疑問に思う花に出会うこともあります。数ある桜の1つである可能性が高いといえます。

桜の分類は複雑！シンプルに「山桜」と「里桜」だけ覚えよう

数え切れないほどの日本の桜、植物学的には複雑かつ詳細に分類されますが、一般的にはシンプルに、山野に自生する野生の「山桜」と品種改良された「里桜」に分けることが多くなっています。

長期間楽しめる野生の山桜 代表は吉野の「ヤマザクラ」

山桜は基本種が9種（山桜・大山桜・霞桜・大島桜・江戸彼岸・丁字桜・豆桜・高嶺桜・深山桜）あり、さらにそこから変性した自生種が100種類ほどあるといわれています。代表的なものは奈良県「吉野の桜」で有名な「ヤマザクラ」です。日本の象徴ともいえるこの桜は野生の桜の代名詞となりました。

ヤマザクラの見た目はソメイヨシノとほぼ同じですが、開花と同時に葉が出るのが特徴です。また、ヤマザクラは開花時期に個体差があるため一気に散ることがなく、長期間にわたってお花見が楽しめます。

園芸用に品種改良された里桜 代表は「ソメイヨシノ」

野生種から園芸用に品種改良されたものが里桜です。野生種の突然変異も里桜と呼ばれる場合があります。

品種改良の歴史は古く、平安時代から人為的な育成が行われていたと考えられています。

日本の桜の約 8 割を占めるといわれているソメイヨシノは、江戸時代にオオシマザクラとエドヒガンを掛け合わせて作ったものです。

その他、見栄えを良くするために花びらの数を増やした八重桜、枝を垂らしたしだれ桜、秋に咲く十月桜が有名です。

日本人の桜好き、古代日本の神が起源？

日本人はなぜ桜を愛するのでしょうか。その歴史は古代神話以前にまでさかのぼります。

八百万の神の中に、山や田の神「サ」神が存在しました。「クラ」とは神が鎮まる座を意味し、サ神がその根元に鎮座したとされる木を「サクラ」と呼ぶようになったということです。サ神を信仰する古代の農民は桜の木に供え物をし、豊作を祈り、宴を行いま

した。この行為は遺伝子として連綿と受け継がれ、日本人が無条件で桜を好む理由の1つになったのではないかと考えられています。

呪術的行事から貴族の優雅な行事に

古代では呪術的要素が強い桜の木の下での宴が、奈良時代には花を楽しむための行事と変化しました。「万葉集」には桜を詠んだ歌が残されており、当時の貴族が桜を好んでいたことがわかります。

平安時代になると桜の人気はさらに高まりました。「古今和歌集」の春の歌はほとんどが桜を歌っており、「源氏物語」でも宮中での華やかな宴の様子が記されています。花といえば桜、というイメージが定着したのもこの頃と考えられています。

武士も花見！あらゆる階層に広まった鎌倉時代

鎌倉時代に入ると、貴族の楽しみであった桜の下の宴はあらゆる階層に広まり、武士や町人の間でも行われるようになりました。京都の寺社や山々に山桜が植えられたのもこの時代といわれています。

ソメイヨシノが誕生、明治以降全国に広まる

江戸時代、お花見は庶民の娯楽として定着し始めます。江戸後期には染井村（現在の東京都豊島区駒込）の植木屋が、エドヒガンとオオシマサクラの交配種「吉野桜」を作り

ました。後に、奈良・吉野山の山桜との混同を避けるため、「ソメイヨシノ」と呼ばれるようになりました。ソメイヨシノは明治以降、沿道や河川敷、公園、学校などに植えられ、全国に広まりました。ソメイヨシノは、今では日本人のアイデンティティといってもよいほどの存在となっています。一斉に花を咲かせ、あっという間に散りゆく姿を惜しむように、日本人は今年も桜の木の下で宴をするのです。

白色の桜



犬桜(イヌザクラ)

花形:一重咲

花の大きさ:小輪

開花期:4月下旬

萼と若芽が鮮緑色、花弁が純白と、いかにも清楚な感じの花が咲き、ミドリザクラとも呼ばれている。



上溝桜(ウワミスザクラ)

花形:一重咲

花の大きさ:小輪

開花期:4月中旬

北海道西南部から九州の山地に自生しています。花穂につく花は小さく、ぶどうの房のような感じです。若い花穂や果実を塩漬けにして食用としている地方もあります。



大島桜(オオシマザクラ)

花形:一重咲

花の大きさ:大輪

開花期:4月上旬

伊豆諸島に分布する野生種で、葉や花が大きく、花に芳香のあるものも多く、形態や開花期などに多くの変異がみられます。サトザクラ類に含まれる多くの品種のもとになった桜といわれ、他の桜との交雑によって生じたと思われる品種が多数知られています。



蒲桜(カハザクラ)

花形:一重咲

花の大きさ:中輪

開花期:4月上旬

原木は埼玉県北本市・東光寺境内にあり、1922年に国の天然記念物に指定されました。江戸彼岸と山桜の雑種と推定されています。鎌倉幕府を開いた源頼朝の弟、蒲冠者 源範頼がこの地に来たときについてきた杖が根づいたのがこの桜で、蒲冠者の名に因んでこの名がついたともいわれています。

淡紅色の桜・・・わずかに赤みがさす、いわゆる「桜色」



染井吉野(ソメイヨシノ) 花形:一重咲 花の大きさ:中輪 開花期:4月上旬 全国に最も広く植栽されている代表的なサクラ。4月上旬に、葉の出る前に淡紅白色一重の花が木を埋め尽くして華やかに咲き、花や葉には毛がある。明治初年に東京の染井(豊島区)の植木屋が、吉野桜の名で売り出し、のちにソメイヨシノと名付けられた。	旭山(アサヒヤマ) 花形:八重咲 花の大きさ:中輪 開花期:4月中旬 小型の品種で鉢植えとして広く市販されています。	雨情枝垂(ウジヨウシダレ) 花形:八重咲 花の大きさ:中輪 開花期:4月中旬 栃木県宇都宮市に詩人の野口雨情が居住した邸があり、そこに八重紅枝垂に混じって植えられていたもので、雨情を記念して名づけられました。花は平開し、がく筒が皿形に広がり、子房が半ば露出するものが多い点が特徴です。	江戸彼岸(エドヒガン) 花形:一重咲 花の大きさ:小輪 開花期:3月中旬 原木は山梨県北杜市・実相寺境内にあり、国の天然記念物に指定されています。福島県の三春滝ザクラ、岐阜県の根尾谷淡墨ザクラとともに日本三大桜のひとつに数えられていて、日本最古の桜ともいわれています。
---	--	--	--

濃紅色の桜

			
蝦夷錦(エゾニシキ) 花形:八重咲 花の大きさ:中輪 開花期:4月中旬 1979年に糸括と里桜の交雑で育成された優美で極めて花着きがよく、雌しべが葉化して改良が極限まで到達した品種です。	紅枝垂(ベニシダレ) 花形:一重咲 花の大きさ:小輪 開花期:3月中旬 枝垂桜の中で花色が濃紅色の品種ですが、個体によって紅色の濃さや花の形などに変異がみられます。	紅豊(ベニユタカ) 花形:八重咲 花の大きさ:大輪 開花期:4月中旬 1961年に松前公園に多数植栽されている松前早咲(別名血脈桜)に龍雲院紅八重を交配、選抜した品種です。紅色豊かな重弁の桜となったことから命名されました。	麒麟(キリン) 花形:一重咲 花の大きさ:大輪 開花期:3月上旬 原木は伊豆半島の河津町にある。河津町では、増殖して川沿いに多く植えたものが温暖な気候により2月下旬から1ヶ月以上にわたり開花し、観光名所となっている。

緑や黄色の桜



御衣黄(ギョイコウ)

花形:八重咲

花の大きさ:中輪

開花期:4月中旬

もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。緑黄色の花色が特異なため、古くから栽培されていたものといわれています。



須磨浦普賢象(スマウラゲンゾウ)

花形:八重咲

花の大きさ:大輪

開花期:4月下旬

1990年4月、神戸市須磨浦公園内に植えられている普賢象の枝変わりとして発見され、花の形質のうち、花色が黄緑色に変化したもので開花終期には花弁の基部から赤変し、時に二段咲きの花が混じります。発見された場所と元の品種名に因んで名づけられました。



園里黄桜(ソノサキザクラ)

花形:八重咲

花の大きさ:大輪

開花期:4月下旬

2001年に長野県須坂市豊丘町梅ノ木地区で発見した普賢象の枝変わり品種で、黄緑色に緑の筋が入った花を咲かせます。旧村名に因んでこの名がつけられました。

一重咲の桜



赤実大島(アカオオシマ) 花の大きさ:大輪 花色:白 開花期:4月上旬 伊豆大島で発見された大島桜の品種です。大島桜の果実は熟すると黒くなりますが、この品種は赤く熟します。	石鎚桜(イヅチザクラ) 花の大きさ:小輪 花色:淡紅 開花期:4月上旬 四国の石鎚山脈の山頂部やその付近の岩石地に多く自生している野生種です。氷河期に南下してきた高嶺桜が近畿豆桜との間に雑種を生じ、それがその後の温暖化に伴って四国の高山に遺存したものと推定されています。	薄毛大島(ウスゲオオシマ) 花の大きさ:大輪 花色:白 開花期:4月上旬 神奈川県真鶴で発見された桜で、栽培されている染井吉野と野生の大島桜との間に生じた自然雑種と推定されますが、染井吉野が自家受精して生じたという説もあります。真鶴地方にはこの桜に近い型のものが比較的多く、伊豆半島や房総半島でも近似のものがみられています。	薄墨(ウスズミ) 花の大きさ:中輪 花色:淡紅 開花期:4月中旬 花柄などに毛が多く、大型の苞をもつ点で白雪に似ていますが花卉の形や葉などが異なっています。
--	---	--	--

八重咲の桜

			
アーコレード 花の大きさ:大輪 花色:淡紅 開花期:4月上旬、秋 英国で大山桜と小彼岸の交配により育成された品種です。英国での開花期は春とされていますが、日本では環境条件によるものか、春と秋の二季咲きとなっています。	綾錦(アヤニシキ) 花の大きさ:大輪 花色:淡紅 開花期:4月中旬 北海道松前町・光善寺境内にある血脈桜から接木増殖され、松前公園に多数植栽されている樹から種子を採り、それを播種・育成した中から選抜した品種です。	一葉(イチヨウ) 花の大きさ:大輪 花色:淡紅 開花期:4月中旬 もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。花の中にある1本の雌しべが葉化していることからこの名がつけられました。	早晩山(イツカヤマ) 花の大きさ:大輪 花色:白 開花期:4月下旬 開花終期になると花卉の中央に一本の紅紫色の線が入るという特徴があります。

す。

菊咲(段咲)の桜



太田桜(オオタザクラ)

花の大きさ:大輪

花色:濃紅

開花期:4月下旬

岐阜県大野郡白川村荻町の本覚寺で植物画家の太田洋愛が発見し、大井次三郎によりこの名がつけられました。カスミザクラ系と推定される菊咲きの品種です。



大村桜(オムラザクラ)

花の大きさ:大輪

花色:淡紅

開花期:4月下旬

原木は長崎県大村市の大村神社境内にあり、社殿前にある木は国の天然記念物に指定されています。



富士菊桜(フジキクザクラ)

花の大きさ:大輪

花色:白

開花期:4月上旬

原木は1962年に静岡県富士宮市白糸佐折・天子岳中腹で発見され、1977年4月に日蓮正宗総本山大石寺に移植され、1981年5月に種苗法に基づいて品種登録されました。一本の樹に八重咲き、二段咲き、三段咲きの花が混ざって咲く、菊咲きの豆桜の品種です。桜では八重咲きの品種は多数知られていますが起源が不明なものが多い中、この桜は自生地が明確な品種です。

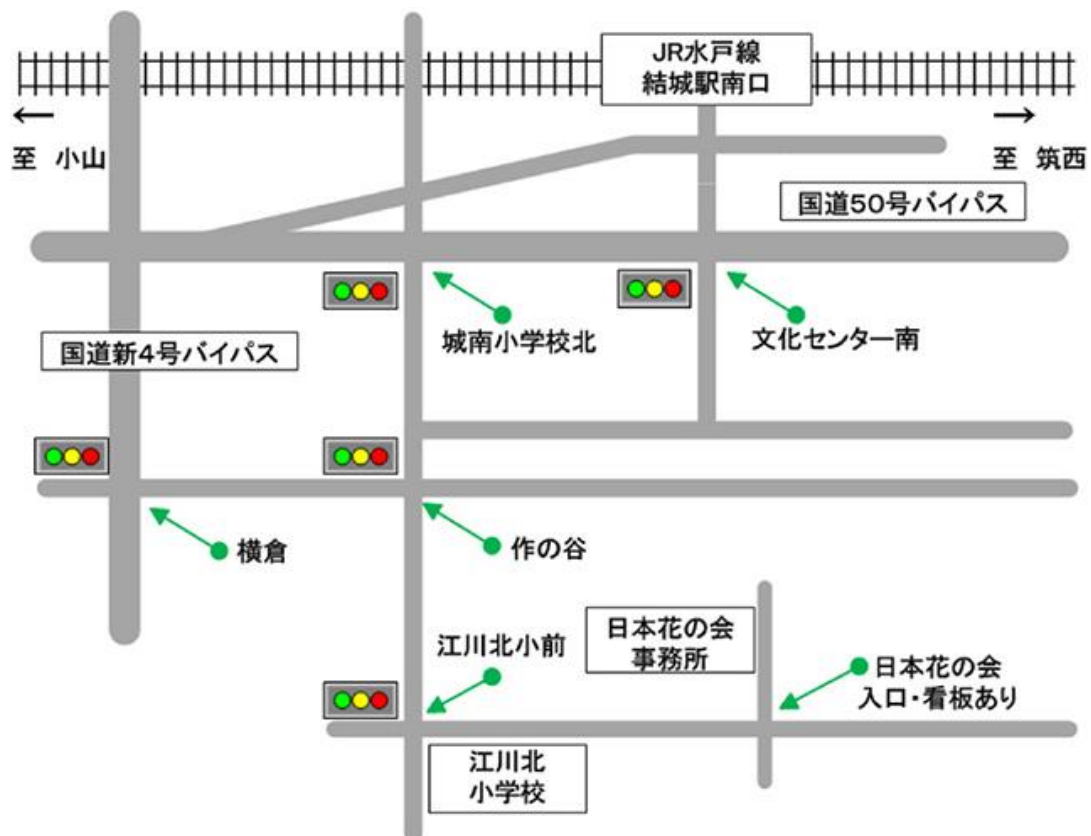
「日本花の会」様ではこの桜の開花季節にいろいろな桜の木を集めた「桜見本園」を一般公開しています。お時間が有りましたら一度ご見学をしてみてはいかがでしょうか。

見学について

休園日:土日・祝日

入場料・駐車料金 共に無料

東北自動車道 佐野・藤岡ICから国道 50 号 約 60 分



園内でのお願い及び禁止事項

- 桜の維持管理作業のために見学などに支障が生じる事がございます。
- 桜は根が浅く根元を踏まれると弱ってしまいます。根元から少し離れて観賞して下さい。
- 指定場所以外での食事はご遠慮ください。（一般公開期間以外は食事の指定場所を設置していない場合があります）
 - ゴミはお持ち帰りください。
- 桜の品種鑑賞や研究に支障がでるため、以下の行為を禁止しています。
 - 立ち入り禁止区域への立ち入り。
 - 園内での飲酒、宴会。
 - コンロなどの火器類やカラオケの使用。
 - その他、桜の育成や観賞に支障となるような行為。
- 係員の指示があった場合には、それに従ってください。

日本花の会桜見本園に関するお問い合わせ

公益財団法人日本花の会 結城農場

TEL: 0296-35-0235

FAX: 0296-35-3385

メール: hananokai@hananokai-yuuki.jp